



ほけんだより

2006年2月号
明照保育園



【子どもの健康状態】

12月に引き続き、1月も例年に比べてお休みする子が少なかったです。欠席理由は、熱・咳などのいわゆる風邪の他、感染症の報告として、インフルエンザ（各学年1～3人）、水痘（雪組2人）、溶連菌感染症（花組・雪組2～4人）、流行性角結膜炎（月組・雪組・赤組2～4人）がありました。

【溶連菌感染症とは】

のどの痛みや熱がでます。熱は治療しなくても自然に下がることがありますが、1～2週間後に再び発熱します。時には体や手足の発疹などがでることもあります。発疹は紅斑様で、かゆみをともないます。舌がいちごの表面のようにぶつぶつになったりもします。



治療 抗生剤を飲むと熱や発疹などは2～3日で無くなりますが、抗生剤を止めてしまうと、溶連菌自体はまだのどに残っていて、1週間くらいで再び熱が出てきます。薬をきちんと飲まない、1ヶ月くらい先にリウマチ熱や急性腎炎(体がだるく、元気が無くなり、顔のむくみや、血尿)をおこすことがありますから、医者への指示通り最後まできちんと飲むことが大切です。



予防(家庭で気をつけること) 兄弟や両親もうつりますから、のどが痛いとか熱がある場合は医者にかかってください。登園は熱が無く発疹が消えたらよいでしょう。(およそ、抗生剤を飲みはじめてから2～3日です。)

【流行性角結膜炎とは】

流行性角結膜炎（通称はやりめ）とはウイルスで起こる急性の結膜炎のことです。（ウイルスというのは、麻疹、水ぼうそう、風疹、インフルエンザ等を起こす病原体の仲間を言います。）以前はプールでうつる夏の病気だったのですが、近頃では一年中見られるようになりました。はやり目が怖いのは、伝染力が大変強く、また普通の結膜炎と違って透明な角膜に小さな混濁が生じ、視力が少し低下する場合があります。

治療 特効薬はないので、点眼治療を開始しても直ちに治癒はしません。病勢が強い場合は治療していても一旦悪化する場合があります。更に片眼だけ悪くて、治療していても他眼もやがて悪くなる場合があります。



必ず治癒する病気ですが、完全に治るまでに約2～3週間かかります。

予防 全て接触感染です。ウイルスに感染した眼を手で触れると手にウイルスが付きます。この手を洗わずにいろんな物に触れると、それにウイルスが付着し、さらに他の人がそれに触れて感染するという経路がほとんどです。

【ぎょう虫卵検査結果と駆除について】



前検の1回目1/13（金）と2回目1/20（金）では、回収のご協力ありがとうございました。前検の結果が出ましたのでお帳面に入れてお知らせします。ぎょう虫卵が検出された子は、後検までの2～3週間の間に駆除をしてから後検を提出して下さい。

☆ 後検・・・2/28（火）配布 → 3/1（水）～3（金）朝まで回収

ぎょう虫の駆除

- * ぎょう虫駆虫薬として「ポキール」、「コンバントリン」があります。医師または薬剤師に相談してください。
- * なお、ぎょう虫駆虫薬は卵には効きません。したがって、卵から成虫になる期間を考慮して1回目の服薬後2週間から3週間後にもう一度服薬することでほぼ完全に駆虫されます。
- * また、ぎょう虫は1人被患者がいると家族にも感染していることがよくあります。家族全員の駆虫をお勧めします。

ぎょう虫症の予防法 ” みんなでぎょう虫をやっつけよう！！ ”

1. 爪を噛んだりしない。
2. 爪はのばしたままにせず、こまめに切る。
3. 肛門のあたりを直接掻いたりしない。
4. トイレの後、食事や調理の前などには、手をよく洗う。



【おわりに】



毎年この時期の流行が心配されるインフルエンザは、1/26日、愛知県にインフルエンザ警報（1医療機関あたりの患者数が30を超えた）が発令されましたが、どの学年も1～3人ととどまっています。

今年から各クラスに設置された加湿器の効果や、うがい・手洗い、早起き早寝の習慣が身についている、お家の人のご協力のおかげでしょう。この調子で遊戯会までがんばりましょうネ！！

